

町政を問う！

第3日目に一般質問が行われ、2人の議員が町政について質問しました。



中村 由美子 議員（11ページ）

- ① 障がい者を取り巻く環境について
- ② LRTを活かしたまちづくりについて



藤沼 英之 議員（12ページ）

- ① LRT開業後のまちづくりについて

次回の定例会は 6月3日からの予定です。

多人数の傍聴の際は事前に事務局へご相談ください。

議会は、はがチャンネルでも放送します。

放送時間

会議当日 午後8時から
再放送 翌日の午後2時から



一般質問とは



一般質問は、定例会において行われ、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要なことから、通告制とされています。

質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以内とされています。

中村由美子が問う 障がい者を取り巻く町の環境を問う



問 芳賀町役場の障がい者雇用の現状と今後は。

答 町長 障がい者雇用の促進等に関する法律により、平成20年度から身体障がい者、令和5年度から精神障がい者の募集をし、現在5名の障がい者を任用しています。法定雇用率は2.6%で、令和6年度2.8%、令和8年度3.0%になるため、関係機関と連携し、安心して働ける魅力ある職場環境の整備に努めます。

問 県内企業の知的障がい者雇用率が2%増加している。療育手帳取得者も増加しているが、採用資格に知的障がい者の追加予定は。

答 総務企画部長 関係機関や他自治体の実態状況を踏まえながら、用務員などから検討し、総合的に判断していきます。

問 障がい者施設などからの物品調達の現状と推進方針は。

答 町長 働く障がい者の経済面の自立促進のため、平成25年度から法律が施行されました。町では、平成26年から推進方針を毎年作成し、優先調達に取り組んでいます。段階的に目標額の引き上げを検討し、全庁に働きかけ優先調達が進むよう取り組みます。

問 公共施設のバリアフリー化の進行状況は。

答 町長 令和4年度に水橋分館の大規模工事に伴いスロープ・トイレ・手すり、今年度に町民会館東階段に手すりを設置しました。未対応の公共施設については改修などに合わせて計画を推進します。

答 総務企画部長 簡易な改修については、計画とは別に適時実施いたします。

問 インクルーシブ社会^(*)の取り組みは。

答 町長 現在、第7期障がい者福祉計画の策定を進め、相談支援の充実、交通・移動手段の確保、就労支援や地域交流の促進、成年後見制度の活動や虐待防止対策など、各事業に取り組みます。年齢・性別・障がいなど人それぞれの違いを自然に受け入れ、すべての人が支え合いながら共に暮らすことができる社会を目指します。

問 聴覚障がい者の窓口対応は基本的に筆談と聞いている。手話対応の取組みや軟骨伝導イヤホンの導入の考えは。

答 住民生活部長 手話教室などは、手話サークルや出前講座で開催できればと思います。軟骨伝導イヤホンについては、衛生的で聞きやすいなどのメリットがあり、聴覚障がい者や高齢者など聞こえに不安がある方にも有効であれば購入も考え、導入している自治体に意見を聞き検討します。

この他「LRTを活かしたまちづくりについて」質問し、トランジットセンターやかしの森公園の活用方法や、誰でも利用できる公共交通の考えについて町の考えを聞きました。



(*)インクルーシブ社会とは、障害・性別・年齢・国籍・文化などの多様性を認め合い受け入れる社会。